



一般社団法人

こども女性ネット東海

Child & Woman Net TOKAI



こども・女性ネット東海の活動のはじまり

熊本地震 まさかの連続地震

2016年4月14日 21時26分 マグニチュード 6.5 最大震度 7(益城町) 2016年4月16日 1時25分 マグニチュード7.3 最大震度:7(益城町・西原村)

2016年4月20日 熊本こども女性ネットの立ち上げ支援

熊本こども女性ネットを支援するために愛知でネットワークづくりを行った。

そこで学んだこと・・・

災害時、妊婦・乳幼児・こども・女性を守るためには、

普段の活動とゆるやかなネットワークが大切であること

男性目線だけでなく、こどもと女性目線を加えることで「**誰一人取り残さない災害対応**」が可能であること

2017年12月3日、2019年1月27日の2回のシンポジウム

2019年9月4日公開勉強会を開催し

2020年8月 一般社団法人こども・女性ネット東海設立

(現在会員40名、facebook公開グループメンバー1000人)

一般社団法人 こども・女性ネット東海の目的と活動



【目的】

こどもと女性の権利を保障し、こどもと女性の人材育成に努め、こどもと女性の主体的な参画と多様な多彩な主体者による連携・協力により、**新たな地域のコミュニティを醸成していくことを目的とする。**

【活動】

緊急時・災害時声を上げにくい妊婦・乳幼児・こども・女性の命を守るために、日ごろより防災・減災の活動等「**たすかる**」活動を行う。また、被災地も含め「**たすける**」活動を行う。

【私たちの活動は】

被災地外の災害NPO等によるレスキュー的な活動ではなく
日頃からNPO等や専門家がつながり、**質の高い活動**を行い、災害発災後も、
できるだけ早く日常に戻るための活動です。

そしてこどもと女性が主体的に**地域づくり、まちづくり**を行っていくことを応援します。



たすかる犬



たすける犬



たすかる犬



たすける犬



統括責任者：藤岡喜美子（一般社団法人こども女性ネット東海執行理事、防災士）



市民、行政、企業の3つのセクターに身をおいた経験から新しい社会システム構築に向けての政策提言や活動を行う。女性や社会性重視の組織の起業支援・経営支援や女性の人材養成を積極的に行う。東日本大震災や熊本地震において被災地支援を行い、災害時においてこどもと女性目線が重要であることから2020年一般社団法人こども女性ネット東海を立ち上げる。内閣府新しい公共の推進会議委員など政府委員や基礎自治体審議会委員など歴任。著書「稼ぐNPO」「こどもと女性に安心な任意の避難所開設のためのハンドブック」



一般社団法人こども・女性ネット東海の仲間



【代表理事】

秋山 則子(三重みなみ子どもネットワーク代表理事)

富田 正美(ハーレーサンタCLUB NAGOYA代表)

【執行理事】

藤岡喜美子(公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事)

【理事・監事】

猪飼由美子(岡崎市民生委員児童委員協議会主任児童員)

伊東 世光(天使保育園園長)

神野左和子(特定非営利活動法人Kids&Mama NPOねこのて理事長)

鈴田 愛(株式会社チャンスグループ代表取締役社長)

塚本 岳(特定非営利活動法人こどもNPO副理事長
東海・よさみプレパーク代表)

寺部 直子(特定非営利活動法人安城まちな学校理事)

戸野憲一(特定非営利活動法人中部プロボノセンター理事)

大塚 久俊(大塚会計事務所)

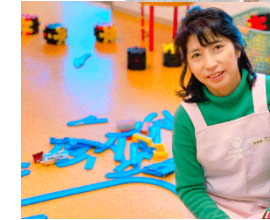
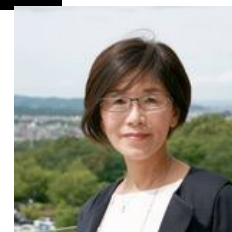
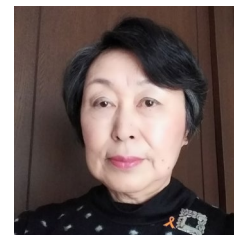
【アドバイザー】

五十風ゆかり(聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授)

田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)

豊蔵勇(ジオ・とよくら技術士事務所)

山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター)



【エリアマネージャー】

三輪宮子(犬山市)

松本永巳(春日井市)

野村美里(春日井市)

南田理恵(名古屋市)

櫻井雅美(武豊町)

荒木歩(岡崎市)

大場直子(田原市)

中川真由美(伊勢市)

森好左和子(犬山市)

石井直子(春日井市)

小林なぎさ(名古屋市)

中井恵美(名古屋市)

青山晃子(岡崎市)

鈴木庸子(蒲郡市)

西山佐和子(松阪市)

中川真弓(伊勢市)



7つの基軸事業

1. 日頃から質の高い活動をするための人材養成やチームづくり
2. こどもと女性目線の防災・減災啓発活動
3. こどもと女性に安心な任意の 小規模避難所開設のためのネットワークづくり
4. 誰一人取り残さないで安心をつくること
助産師、保健師、社会的保育士、看護師等専門家のネットワークをつくり
5. 災害時、在宅避難、任意の小規模避難所に救援物資が提供できるような
仕組みづくり
6. 誰一人取り残さない安心な避難所設置について、政府・行政・企業への提言
7. 災害発生後のこどもと女性による主体的な復旧、復興活動

重点事業 女性防災育成リーダー事業



課題： 災害発災時、行政や外部からの災害NPO等による支援には限界がある。
日本の地域は、まだまだ男性中心の活動である。

日頃より、女性が地域とのつながりを強くし、自ら進んで活動し、いざという時にその力を発揮できるようにする。

防災・減災の知識を習得し、マニュアルを学ぶだけのセミナーの受講だけでなく、大規模被災地等を視察したり、被災者の話を聴くことで、災害を自分事とし、その後の地域での活動を伴走支援する。

地域を変えていく原動力になるような本気の人材発掘、育成支援を行う。

セミナーの修了生同士や専門家、他地域の実践者などとのネットワークと伴走支援により、継続的な勇気を醸成し、課題があるも前に進む問題解決力を引き出し、女性リーダーの挑戦を応援するものである。

めざす姿

こどもと女性が日頃から災害への備えを主体的行うことで地域の防災活動が変革されており、避難所や仮設住宅の生活においてこどもや女性の権利が尊重されて、男性目線だけでなく、こどもと女性目線を加えることで、誰一人取り残すことのない運営がなされ、多様な主体者が復旧・復興過程においても、希望をもち生きていける地域づくりを行っている。

長期成果1 女性が支援される側にとどまることなく主体者となり、近助、共助が重要であることを深く理解し、平常時の備えだけでなく、避難所や仮設住宅等での生活、復旧・復興過程等においてリーダーとして責任ある行動がとれるようになっている。

長期成果2 こどもと女性が平常時の備えだけでなく、避難所や仮設住宅等での生活、復旧・復興過程等において、主体的に行動している。

長期成果3 平常時だけでなく、災害時もこどもと女性の生きる権利と参加する権利が保障されている。

長期成果4 地縁系の組織（自主防災組織等）が慣例にとらわれず、社会の変化に即し、緊急時、災害時に、一人ひとり寄り添った活動ができている。

長期成果5 行政は自らの限界をしり、こどもと女性の参画を積極的に行い、平常時も災害時もNPO等との適切な役割分担にて連携協力している。

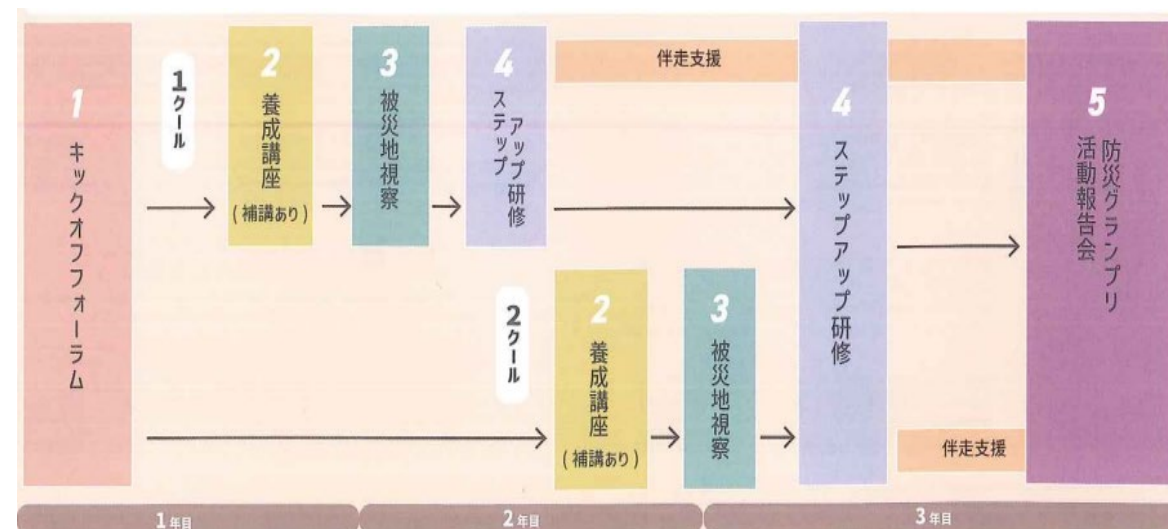
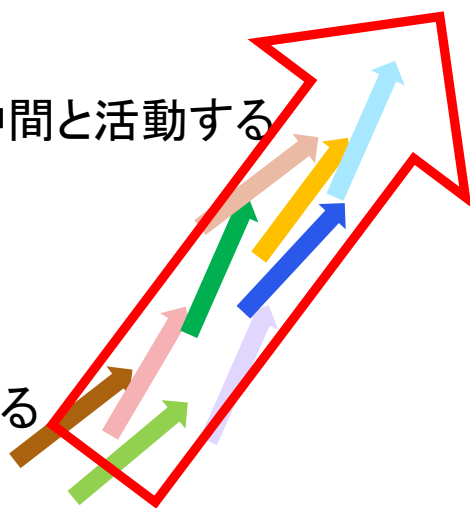
一人の力は所詮ひとり

自分サイズ、自分スタイルで、自律して仲間と活動する

↓
組織と組織がゆるやかにつながる

↓
目標をいつも確認し

目標に向かいみんなのベクトルを合わせる

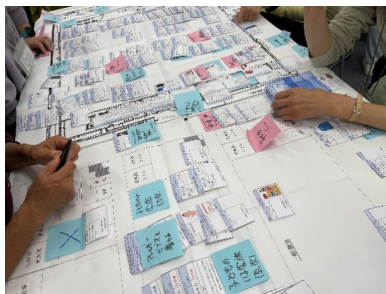




テレビや新聞で告知



養成講座宿泊体験



こどもと女性目線の
HUG演習



大規模被災地視察
第1クール東日本大震災
第2クール熊本地震



こどもと女性目線の
地域防災グランプリ



女性防災リーダーズが行政を変える！！地域を変える！！

岡崎市と協定を締結



春日井市と協定を締結



P シーズ
O ミッション
N つながり

犬山市と協定を締結

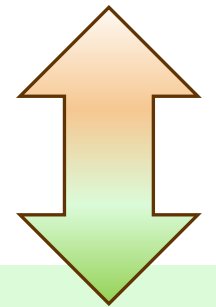


碧南市と協定を締結



自律している市民

連携



行政



重点事業 NPO等の起業支援、経営支援

社会的価値と経済的価値を創出しようとする組織の起業支援・経営支援を行う。

人が変わることを支え、人に支えられているNPO等の組織にとって、最重要課題は「人」である。ミッションに共感し、情熱を持って活動する仲間とどのようにつながり、ひとり一人が成長していくか。ボランティアや有給スタッフなど、多様な活動や働き方をする人材を効果的にマネジメントすることや、将来の非営利セクターを担う人材を育成し輩出することは、NPOの持続的発展にとって、社会にとって、喫緊の課題である。

重点事業 任意の避難所開設ネットワークづくり事業



現在

愛知県・三重県21か所で任意の小規模避難所の開設準備をしている

多様な開設場所

保育園・放課後児童クラブ・子育て支援拠点事業施設・放課後児童サービス、発達障害のこどもの居場所・子ども食堂・NPO法人事務所等





熊本地震 では 自主避難所が開設された

熊本県内ではピーク時で、約900か所の避難所が開設、18万人を超える住民が避難し、避難所生活は最長7ヶ月も続いた。

* この中には車中泊、小規模の公民館、公園等 を含む自主避難、在宅避難者の正確な数字は反映されていない。

* 自主避難所はピーク時は約700か所あった。

(こども女性ネット東海調査)

熊本地震 自主避難所の開設



地震発生直後から私設避難所として、地域の方に園を開放した保育所があります。

こどもの保育の専門家である保育者がいる避難所は、園に通うこどもとその家族だけでなく、地域の人々の**心の支え**となりました。





小中高生が薪をわって炊き出し



三度の食事を賄う



おいしいおいしいと
ご飯を食べる



泥だんごコンテスト

大人も子どもがともに笑う



身体をほぐして、
心の底から楽しむ





熊日新聞 2月16日

震災 10ヵ月後

子どもたちへのケアが必要

夜泣き増えた、暗い場所怖がる…

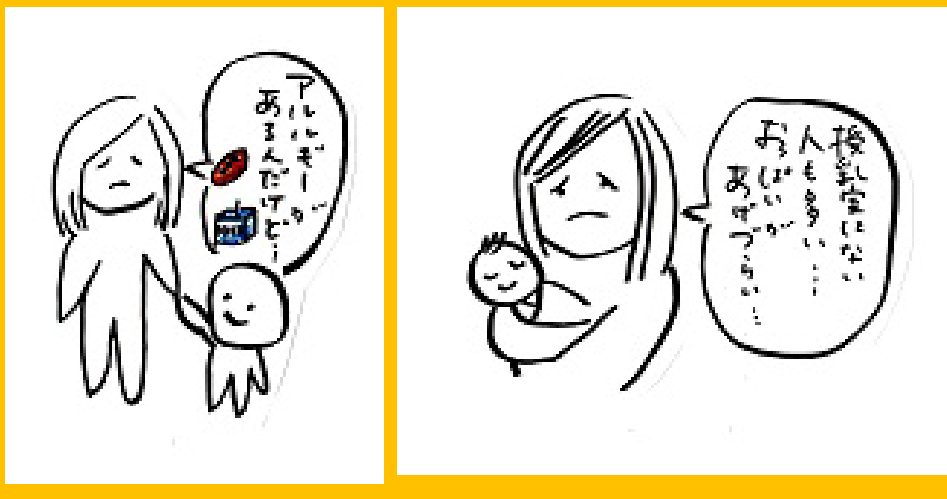
熊本地震、親子55%に精神的影響

熊本県は、熊本地震で大きな被害を受けた御船、菊池、阿蘇、宇城保健所管轄の4圏域で、55%の親子が「夜泣きが多くなった」「不安だ」などの影響があったとする調査結果を明らかにしました。県子ども未来課は「地震被害が大きい地域では、精神的な影響も大きかったとみられる」としています。

(16日朝刊30面)

熊本地震がおこり、
たくさんの方が不安な
日々を過ごしました。

避難所では・・・





一方で、たくさんの笑顔あふれる
あたたかな場所もありました。



やまなみ保育園
さくらんぼ保育園



自主避難所開設

修了生による能登半島被災地支援



1月4日緊急会議
支援の準備を始める



ポーチセットをつくる
まずはお話を聞きする



珠洲市

輪島市

志賀町

七尾市

先発隊 1月10日(水)～12日(金)
第2隊 1月21日(日)～23日(火)
第3隊 2月18日(日)～21日(水)
第4隊 2月23日(金)～25日(日)
第5隊 3月11日(月)～14日(木)
第6隊 3月17日(日)～19日(火)
第7隊 3月26日(火)～28日(木)
第8隊 4月 7日(日)～ 9日(火)
第9隊 4月18日(木)～22日(月)
第10隊 4月26日(金)～28日(日)
第11隊 5月 4日(土)～ 5日(日)

第12隊 5月 9日(木)～13日(月)
第13隊 6月13日(木)～16日(日)
第14隊 7月12日(金)～14日(日)
第15隊 8月 5日(月)～ 7日(水)
第16隊 8月17日(土)～18日(日)
第17隊 9月28日(土)～30日(月)
第18隊 10月23日(水)～24日(木)
第19隊 11月22日(金)～23日(土)
第20隊 11月29日(金)～30日(土)
第21隊 12月21日(土)～22日(日)
第22隊 3月28日(金)～30日(日)



こども女性ネット東海の被災地支援活動



寝ることや食の支援だけでなく早期から心のケアと一体的に
誰ひとり取り残さないとは誰か取り残していないかをいつも考える

お一人お一人に寄り添う
できるだけはやく日常を取り戻す活動
こどもの権利を保障する
安全だけでなく安心を！！

発達障害のこども、不登校のこどもの居場所をつくりたい
二歳の幼児の食の偏りが心配
洗濯ができないので、下着がほしい
果物やサラダが食べたい

こども女性ネット東海の被災地支援活動

寝ることや食の支援だけでなく早期から心のケアと一体的に

お一人お一人に寄り添う

できるだけはやく日常を取り戻す活動

安全だけでなく安心を！！

こんな素敵な笑顔に



例えば・・・

3時間、政府・行政への批判や生活再建ができないつらさのお話をお聞きする。

最後は聞いてくださってありがとう。

次にお会いしたときには、なにややろうと思うとお話くださった。被災者のニーズをきいて頂き、物資をくばることをしてくださっている。



怖かったのよと話される



赤ちゃんが1か月で被災
検診を受けていないので
発達が心配。みんな金沢に二次避難し、ママ友がいない

赤ちゃんが慣れない環境で泣き続ける。お母さんもおばあちゃんも昼夜抱き続けて疲れてしまう
互いに言い争いも。親が不安でたまらない。こども女性ネット東海のスタッフが抱っこしたら5分ですやすや



プライバシーとコミュニケーション



人の繋がりができると
だんだん高くなるパーテーション



プライバシーは守られますが...



能登でみえたこと、感じたこと

- ・地域ですぐに行動するNPO等やリーダーの存在
- ・指定避難所は高齢者が多く避難所を落ち着かせることで精一杯
(多数派への対策が優先)

妊婦、乳幼児、こどもがみえる家庭は何世帯みえますか

→ほとんどない

でもみえますよね

→調べてみる(余裕がない)

3ヶ月の赤ちゃんのみえる家庭はこどもの泣き声が申し訳ないと
車中泊していた。

早期よりこどもと女性目線が必要

活動実績



<人材養成>

- ▶ 常滑市子育て支援員研修(2018年度60名)
- ▶ 愛知県放課後児童支援員認定資格研修(2017年度1250名2018年度1278名)
- ▶ 愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修(2019年度1226名)
- ▶ みよし市病児病後児預かり人材育成講座(2019年度22名)
- ▶ 愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修(2020年度 732名)
- ▶ 愛知県シルバー人材センター子育て支援者技能研修(2021年度 30名)
- ▶ 愛知県シルバー人材センター放課後児童支援員補助員研修(2021年度60名)
- ▶ こども女性目線の避難所リーダー養成講座(2021年度28名)
- ▶ 愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修(2021年度 724名)
- ▶ 愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修(2022年度 710名)
- ▶ 愛知県シルバー人材センター放課後児童支援員補助員研修(2022年度33名)
- ▶ 任意の小規模避難所運営リーダー養成講座(2022年度46名)
- ▶ 防災女性リーダー養成講座(2022年度32名)
- ▶ 才能はみだしっ子「ギフテッドチルドレン」セミナー(2022年度71名)
- ▶ 女性防災リーダー育成事業(2022年9月～2025年3月 60名)



活動実績

＜災害時・緊急時のための活動＞

▶ 防災・減災啓発のためのシンポジウム開催

2017年12月(98名参加、後援愛知県他9団体、協力16団体)

2019年1月(63名参加、後援愛知県他9団体、協賛1団体、協力14団体)

2021年2月(168名参加 オンライン)

▶ こどもを中心に防災食の体験セミナー

▶ 熊本地震における被災者を支援するNPOへの支援

▶ 佐賀集中豪雨における被災者を支援するNPOへの支援

▶ 防災・減災活動啓発のための勉強会開催 2019年9月(35名参加)

▶ こども女性目線の避難所リーダー養成講座 2021年8月(25名参加)

▶ 女性防災リーダー育成プロジェクト(2022年9月～2025年3月、60名養成、伴走支援中)

▶ 能登半島地震被災地支援 1月10日より23回

▶ 地域エリヤマネージャーによる、毎月10日、16日に#伝える防災、#明日を守る防災を発信

▶ 愛知県岡崎市、犬山市、春日井市、碧南市と災害ケースマネジメントの協定書を締結



こどもと女性目線で
多様性に配慮できる
次のステップの地域防災へ